

教科名：
「高位平準動物看護学」

自律学習理解度確認課題

※ 10 問中 2 問にご解答ください。

氏名：

動物人間関係学

科名：動物人間関係学

問題1 動物を介在させ人の福祉、医療、教育への活用を表す言葉を3つあげて説明してください。

解答1

問題2 CAPP活動について簡潔に説明してください。

解答2

問題3 動物と暮らす高齢者について、知り得たことを例をあげてまとめてください。

解答3

問題4 伴侶動物と暮らすことのメリットを、例をあげて説明してください。

解答4

問題5 「人と動物の関係に関する国際会議」とは何か、簡潔に説明してください。

解答5

問題6 「人と動物の関係に関する国際会議」ジュネーブ宣言（1995）で示された5つの決議について説明してください。

解答6

問題7 「人と動物の関係に関する国際会議」ブラハ宣言（1998）で、動物を訓練しサービスを提供する際に、動物たちのための約束事がガイドラインとして示されました。その内容について説明してください。

解答7

問題8 「人と動物の関係に関する国際会議」リオ宣言（2001）で、学校でのコンパニオン・アニマルに関する教育について、教師が実施するプログラムのガイドラインが示されました。その内容について説明してください。

解答8

問題9 「人と動物の関係に関する国際会議」東京宣言（2007）で、「人が動物の存在から恩恵をうけることが普遍的かつ自然な基本的人権である」この権利を広く享受するためには様々な分野の法律や規則に関する取り決めが必要であるため、多機関に要請した事柄について、簡潔に説明してください。

解答9

問題10 「人と動物の関係に関する国際会議」シカゴ（2013）で宣言された”ワンヘルス（One Health）の概念について、例をあげて簡潔に説明してください。

解答10

教科名：
「高位平準動物看護学」

自律学習理解度確認課題（模範解答）

氏名：

動物人間関係学

科名：動物人間関係学

問題1	動物を介在させ人の福祉、医療、教育への活用を表す言葉を3つあげて説明してください。
解答1	動物介在活動：Animal Assisted Activity: AAA・・・主に高齢者施設やホスピス、催事などでのレクリエーション的な要素が主軸となり、高齢者等対象者の責任者と動物を伴うボランティア側の責任において行われるふれあい活動。 動物介在療法：Animal Assisted Therapy: AAT・・・人の治療を目的として適切なセラピー動物を介在させて目的に合ったプログラムを実施し、医療者は経過を記録し効果の判定を行う義務があり、主に活用されるのは作業療法、理学療法、言語療法、精神科医、慢性疾患等の治療現場である。動物介在教育：Animal Assisted Education: AAE・・・適切な動物を介在させることによって、子供たちの心身の教育に役立つプログラムを教育者とボランティア側が検討し、授業として導入するもの。
問題2	CAPP活動について簡潔に説明してください。
解答2	CAPP(Companion Animal Partnership Program)の略。人と動物のふれあい活動。公益社団法人日本動物病院協会の獣医学を通じての社会貢献活動として1986年にスタートさせ、現在全国的活動として推進されているもの。人と動物とのふれあいや相互作用から生まれる様々な効果を医療や福祉、教育の現場に活用することを目的としている。世界共通の人と動物との絆を大切にす理念を活かした基準を守って活動している。CAPP訪問活動への参加者の多くは、一般飼い主で、共に活動するセラピー動物は、健康で幸せに暮らしている家族としての動物たちで、適正があり、飼い主と共に活動に必要な研修を受けている。適正は、基本的なしつけができていて、他の動物（異種の動物にも）特別な関心を持たない、人が好き・誰にでも優しく触れ合える、急な物音に動揺しない、健康診断の提出、行動学的チェック、などを実施していること。
問題3	動物と暮らす高齢者について、知り得たことを例をあげてまとめてください。
解答3	高齢者にとっての伴侶動物は、特別の関わりがある。高齢者の日常を定期的に支え、ごく自然に孤独からの開放、発語やリハビリテーションに、交友や社会的行動を支え、心身の健康に大きな役割をはたしている。動物と暮らす高齢者は、①未来のことを話題にする ②通院回数が少なく、投薬量も少ない ③入院日数の短縮、健康で在宅が長くなる ④散歩の距離は3倍、友人のできる率は5倍 ⑤高齢者の健康を支える社会的経済負担の軽減等に役立っている。
問題4	子供が伴侶動物と暮らすことのメリットを、例をあげて説明してください。
解答4	0歳児から犬や猫と暮らすことで、アレルギー性鼻炎や結膜炎の発症率が低い。兄弟の多い子供、農場に育った子、発達途上国の子供たちと同じ効用があるようだ。犬と猫は室内飼いが一般的となり、共に暮らす子供たちにとって精神面から健康まで役立っていることが広く実証されてきた。免疫の正しい確立の時期にエンドトキシン等の感作の必要性を裏付けている。①同じ命であることを実感する ②自然や生命の大切さを学ぶ ③兄弟や友人の役割を果たす ④安定した情緒や自信を持たせる ⑤協調、忍耐、責任感を学ぶ ⑥優しい言葉やいたわりを学ぶ など。
問題5	「人と動物の関係に関する国際会議」とは何か、簡潔に説明してください。
解答5	IAHAIO=International Association of Human-Animal Interaction Organizationを「人と動物の関係に関する国際会議」という。人と動物の相互作用の正しい理解を促進させるために各国で活動している学会、協会等の国際的な連合体として、米国のDelta Society（現ペットパートナー協会）、フランスのahirac、イギリスのscasが中心となって1990年に設立された。目的は、全てのIAHAIO加盟国、加盟団体の協力と協調により、世界の「人と動物との相互作用の研究」を「人と動物双方のクオリティ・オブ・ライフと福祉の向上」に活用していくこと。
問題6	「人と動物の関係に関する国際会議」ジュネーブ宣言（1995）で示された5つの決議について説明してください。
解答6	1. 「コンパニオンアニマルの飼い主が、他の住民の権利を侵さない適切な飼い方をする限り、人はあらゆる場所でコンパニオン・アニマルを飼うことができる」という世界共通の権利を認める。 2. 「人間の生活環境を、コンパニオン・アニマルとその飼い主の特性とニーズに合うよう、デザイン・設計することを保証する」 3. 学校の授業にコンパニオン・アニマルにかんする教育を取り入れ、正しい動物とのふれあい方を通じて、子供たちの心の成長に欠かすことのできない動物の大切さを児童教育に活かす。 4. 病院、老人ホーム、養護施設などの、動物とのふれあいが必要な人々のために、訪問動物として認められたコンパニオン・アニマルが出入りできるように保証する。 5. 身体障害を克服しようとする人々のために、動物による有益な「介助」や「動物介在療法」を公的に認知する。また、健康や社会福祉に携わる専門家の養成プログラムに、このような動物による、介助や動物介在療法に関する教育を取り入れる。
問題7	「人と動物の関係に関する国際会議」プラハ宣言（1998）で、動物を訓練しサービスを提供する際に、動物たちのための約束事がガイドラインとして示されました。その内容について説明してください。
解答7	動物介在療法・動物介在療法実施に関するガイドライン 1・陽性強化法（自発的訓練法）で訓練された、野生動物を除く家畜化された動物で、過去から将来にわたり適切に飼育されている動物のみが活動すること。 2・活動する動物に悪影響をおよぼさないための予防的配慮が取り入れられていること。 3・活動が真に有効である見込みがあるときのみ実施されること。 4・関係する全ての人々のために、安全性、リスク・マネジメント、心身の健康と安全、信頼と選択の自由、スペースと資金、適切な役割と仕事量、プライベートと訓練の規定が基準として規定されていること。
問題8	「人と動物の関係に関する国際会議」リオ宣言（2001）で、学校でのコンパニオン・アニマルに関する教育について、教師が実施するプログラムのガイドラインが示されました。その内容について説明してください。
解答8	動物介在教育実施ガイドライン 1・教室で動物に触れ合えることがみとめられなければならない。①校内において適切な環境のもとで飼育されている。②教師によって学校へ連れてこられる。③訪問プログラムという形態のもと、飼い主同伴で訪問する。④障害を持つ子供に介助犬として同行する。 2・子供とコンパニオン・アニマルに関するプログラムで条件を満たす必要があるもの。①安全であること（適性があり、正しく訓練されている）②健康であること（獣医師の健康診断を受けている）③学校の環境に適応する準備ができていて（子供に慣れている、移動に慣れているなど）④適切に飼育されていること（学校でも、家庭でも）⑤動物飼育に対して知識のある成人の管理下にあること（教師または飼い主） 3・実施する前に学校と保護者の双方に対して、動物介在教育の重要性について理解を得ておくこと。 4・明確な学修目標を設定すること。①学校カリキュラムの様々な場面で子供たちの知識や学習意欲を向上させること。②人間以外の生き物を尊重する心と責任感を育てること。③人間以外の生き物を尊重する心と責任感を育てること。④子供の一人ひとりがそのプログラムに関わっているかどうか。感情の表し方は個人で異なることを考慮する。
問題9	「人と動物の関係に関する国際会議」東京宣言（2007）で、「人が動物の存在から恩恵をうけることが普遍的かつ自然な基本的人権である」この権利を広く享受するためには様々な分野の法律や規則に関する取り決めが必要であるため、多機関に要請した事柄について、簡潔に説明してください。
解答9	5つの決議。 1・動物との直接的な接触を望まない人の権利も尊重しながら、適切に飼育されているコンパニオン・アニマルの同居を認める住宅規則を制定すること。 2・動物介在療法や動物介在活動のために特別に選ばれ訓練された健康で清潔な動物が医療施設に入れるように推進すること。 3・動物介在療法、動物介在活動、動物介在教育を実施するために適切に訓練された人と動物を認める。 4・動物がいることによって、恩恵を受けることができるあらゆる年齢層のケアセンターや入居施設において、コンパニオン・アニマルの存在を認めること。 5・IAHAIOリオ宣言に基づき、学校カリキュラムにコンパニオン・アニマルを介在させることを推進すること。
問題10	「人と動物の関係に関する国際会議」シカゴ（2013）で宣言された”ワンヘルス（One Health）の概念について、例をあげて簡潔に説明してください。
解答10	1・ヒューマンアニマルボンドの概念を、公衆衛生教育におけるOne-Healthの重要な概念として推進するために、教育においても実務においても、医療や獣医療等健康の専門家、社会福祉、心理学、教育の専門家の業種間の協力を奨励する。 2・人と動物双方の健康とウェルネスを目的とする、コンパニオン・アニマルと人が関与するプログラムを推進すること。 3・自然発生的疾患とコンパニオン・アニマルの健康状態についての理解を一層促し、人と動物の病気の予防と治療のためにこの知識を普及すること。 4・動物と人が関与するプログラムに参加する動物の健康と幸せに関する基準作りを促進すると共に、動物の感覚力および専門家の動物への責任が双方ともに重要であると認識すること。